

# 令和7年度千葉市生活保護世帯等学習・生活支援事業業務委託における質問と回答

※質問の趣旨を損なわない範囲で、一部質問内容を修正しております。

## 質問項目 1

項目：仕様書 2 対象者

内容：令和7年度の「中学2年生および中学3年生」、「中学1年生」、「15歳から18歳までの中学校を卒業した子ども」の本事業対象者の見込み人数をそれぞれご教示ください。

## 回答

- ・令和7年度の「中学2年生および中学3年生」、「中学1年生」、「15歳から18歳までの中学校を卒業した子ども」の本事業対象者の見込み人数は、以下のとおり回答いたします。
- ・「中学2年生および中学3年生」につきましては、約1600名を見込んでおります。  
なお、現時点の見込み人数ですので、実際とは異なる場合がございます。  
過去2年の対象者数から大幅に増減がないことが想定されますので、質問項目4の対象者数を確認していただきますようお願いいたします。
- ・「中学1年生」につきましては、約100名を見込んでおります。
- ・「15歳から18歳までの中学校を卒業した子ども」につきましては、質問項目9にて回答させていただきます。

## 質問項目 2

項目：仕様書 4 業務内容（1）学習支援に関する業務

内容：令和5年度、令和6年度中の学習支援事業1回あたりの最大出席者数および平均出席者数について、会場別にご教示ください。

## 回答

- ・令和5年度、令和6年度中の学習支援事業1回あたりの最大出席者数および平均出席者数について、以下のとおり回答いたします。

○1回あたりの最大出席者数

コース	会場	R5	R6
平日	中央保健福祉センター	29	25
	蘇我コミュニティセンター	17	15
	花見川保健福祉センター	29	22
	花島コミュニティセンター	15	21
	稲毛保健福祉センター	30	18
	若葉保健福祉センター	25	27
	都賀コミュニティセンター	14	13
	千城台コミュニティセンター	22	30
	緑保健福祉センター	26	15
	鎌取コミュニティセンター	10	16
	土気あすみが丘プラザ	12	10
	美浜保健福祉センター	29	23
	土曜日	蘇我コミュニティセンター	7
稲毛保健福祉センター		13	10

○1回あたりの平均出席者数

コース	会場	R5	R6 (R7.1まで)
平日	中央保健福祉センター	20.4人	20.6人
	蘇我コミュニティセンター	11.5人	9.9人
	花見川保健福祉センター	21.9人	18.1人
	花島コミュニティセンター	11.9人	16.8人
	稲毛保健福祉センター	23.2人	14.4人
	若葉保健福祉センター	21.1人	22.7人
	都賀コミュニティセンター	11.1人	10.5人
	千城台コミュニティセンター	17.2人	25.8人
	緑保健福祉センター	20.0人	15.5人
	鎌取コミュニティセンター	7.0人	12.3人
	土気あすみが丘プラザ	10.3人	8.4人
	美浜保健福祉センター	21.3人	19.4人
	土曜日	蘇我コミュニティセンター	4.4人
稲毛保健福祉センター		9.1人	7.7人

### 質問項目 3

項目：仕様書 4 業務内容（2）生活支援に関する業務

内容：令和 5 年度、令和 6 年度に実施しましたイベント内容、実施回数、時期、参加状況についてご教示ください。

### 回答

- ・令和 5 年度、令和 6 年度に実施しましたイベント内容につきまして、以下のとおり回答します。
- ・なお、参加率につきましては、令和 5 年度の集計はしておりませんので、令和 6 年度のみ回答いたします。

#### <令和 5 年度>

- ・キャリア教育ワーク 14 会場×全 3 回 計 42 回  
実施時期：7 月（1 回目） 9 月～10 月（2 回目） 11 月～12 月（3 回目）
- ・レクリエーション 14 会場×各 1 回 計 14 回  
（ポッチャ）  
実施時期：8 月～9 月
- ・高校進学セミナー（集合型） 年 1 回  
実施時期：8 月
- ・高校進学セミナー（各会場） 14 会場×各 1 回 計 14 回  
実施時期：11 月～12 月
- ・受注者の主催する宿泊型勉強会への参加 年 1 回（参加人数上限有り）  
実施時期：12 月

#### <令和 6 年度>

- ・レクリエーション 14 会場×各 1 回 計 14 回  
実施時期：6 月  
出席率 79.5%
- ・マナーセミナー（生活自立・仕事相談センターと合同イベント）  
14 会場×各 1 回 計 14 回  
実施時期：10 月  
参加率 51.4%、保護者の参加あり
- ・キャリア教育ボードゲームを通じてチームワークについて学ぶイベント  
14 会場×各 1 回 計 14 回  
実施時期：1 月  
参加率 61.8%

**質問項目 4**

項目：仕様書 4 業務内容（3）参加申込者の募集～決定に関する業務

内容：令和 5 年度、令和 6 年度の対象者数及び参加申込者を会場別にご教示ください。

**回答**

**【対象者数】**

- ・令和 5 年度：約 1,600 名
- ・令和 6 年度：約 1,500 名

※なお、会場ごとの対象者数につきましては、計上困難ですので、総数での回答とさせていただきます。

**【参加申込者数】**

コース	会場	R5	R6
平日	中央保健福祉センター	37	32
	蘇我コミュニティセンター	20	22
	花見川保健福祉センター	34	26
	花島コミュニティセンター	21	25
	稲毛保健福祉センター	33	25
	若葉保健福祉センター	32	40
	都賀コミュニティセンター	18	18
	千城台コミュニティセンター	24	35
	緑保健福祉センター	28	23
	鎌取コミュニティセンター	14	18
	土気あすみが丘プラザ	14	12
	美浜保健福祉センター	34	31
土曜日	蘇我コミュニティセンター	10	13
	稲毛保健福祉センター	18	12
合計		337	332

**質問項目 5**

項目：仕様書 4 業務内容（3）参加申込者の募集～決定に関する業務

内容：令和 6 年度の申込者数、参加者数、出席率、辞退者数について、会場ごと、学年別の状況をご教示ください。

回答

- ・令和6年度の出席率については年度途中であるため、直近の1月分の出席率を記載しています。

(R7.1月時点)

コース	会場	申込人数			参加者決定数			出席率			辞退者数		
		全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生	全体	3年生	2年生
平日	中央保健福祉センター	32	17	15	32	17	15	59.0%	63.0%	54.0%	1	1	0
	蘇我コミュニティセンター	22	14	8	20	13	7	59.8%	65.7%	50.0%	1	0	1
	花見川保健福祉センター	26	17	9	26	17	9	64.6%	66.6%	69.3%	3	1	2
	花島コミュニティセンター	25	15	10	25	15	10	76.0%	75.8%	76.1%	2	1	1
	稲毛保健福祉センター	25	13	12	25	12	13	50.0%	55.5%	46.1%	1	1	0
	若葉保健福祉センター	40	20	20	39	20	19	59.8%	50.8%	61.3%	7	3	4
	都賀コミュニティセンター	18	10	8	16	10	6	55.8%	48.7%	70.0%	1	0	1
	千城台コミュニティセンター	35	20	15	35	20	15	74.9%	80.4%	67.3%	2	1	1
	緑保健福祉センター	23	16	7	23	16	7	69.6%	69.6%	69.3%	0	0	0
	鎌取コミュニティセンター	18	10	8	17	10	7	73.2%	69.2%	79.5%	0	0	0
土曜日	土気あすみが丘プラザ	12	4	8	11	4	7	65.7%	47.6%	73.4%	1	1	0
	美浜保健福祉センター	31	15	16	31	15	16	59.3%	55.1%	55.1%	3	0	3
	蘇我コミュニティセンター	13	6	7	13	6	7	65.4%	66.6%	64.2%	0	0	0
	稲毛保健福祉センター	12	6	6	11	6	5	65.9%	45.8%	80.0%	0	0	0
	合計	332	183	149	324	181	143	64.1%	62.9%	65.0%	22	9	13

質問項目 6

項目：仕様書4（5）本事業の待機者への配慮

内容：令和5年度及び令和6年度に行った、待機者への配慮について、どのような取り組みを行ったかご教示ください。

回答

- ・令和5年度及び令和6年度ともに、ICT教材の配布を実施しました。

質問項目 7

項目：仕様書4（6）生活保護受給世帯への事業参加促進

内容：令和6年度の生活保護受給世帯への事業参加促進について、実施方法及び回数のお考え方をご教示ください。

回答

- ・令和6年度の生活保護受給世帯への事業参加促進では、対象となる世帯すべてに電話又は家庭訪問を実施しております。
- ・電話及び家庭訪問を1回行った場合、電話が繋がらない、家庭訪問不在の場合も実施回数1回とカウントします。  
なお、この場合は延べ実施回数1回、不在回数1回とカウントします。(実回数は0回)
- ・なお、電話が繋がらず、折り返しの電話がかかってきた場合は、不在回数にカウントせず、実施回数にのみカウントします。

質問項目 8

項目：仕様書 4（6）生活保護受給世帯への事業参加促進

内容：生活保護受給世帯への事業参加促進について、令和 5 年度及び令和 6 年度の取り組み内容とその実施件数についてご教示ください。

回答

【令和 5 年度】

- ・電話 242 回
- ・家庭訪問 10 回
- ・説明会及び体験会 18 件
- ・同行訪問なし

【令和 6 年度（R7.1 月末時点）】

- ・手紙送付（訪問告知） 87 通
- ・電話 300 回
- ・家庭訪問 12 回（訪問 8 回、不在 4 回）
- ・説明会及び体験会 6 件
- ・同行訪問なし

質問項目 9

項目：仕様書 4（7）生活保護受給世帯への進路選択支援業務

内容：生活保護受給世帯への進路選択支援について、対象者数はどの程度を想定されているかご教示ください。

回答

- ・対象者につきましては、学習・生活支援事業の申込率を鑑み、対象者全体の 2 割～3 割程度の利用を見込んでおります。
- ・対象者である「15 歳から 18 歳までの中学校を卒業した子ども」の見込み人数は、以下のとおりです。

	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
人数	110	99	122	109	440

- ・なお、当該事業は令和 7 年度から新たに実施する事業となっておりますので、令和 6 年度実績はありません。

質問項目 10

項目：仕様書 8 災害発生時等の対応

内容：洪水警報発令時の記載がありましたが、これまでに具体的なトラブル事案がありましたら、ご教示ください。

回答

- ・これまでトラブルはありません。

質問項目 11

項目：仕様書 9 会場における注意事項

内容：「(料金改定等により変更となる可能性あり)」とありますが、実際に料金改定が発生し、料金が上がった際は、契約額変更のための契約変更をさせていただき理解でよろしいでしょうか。

回答

- ・原則として契約変更は行いません。

質問項目 12

項目：仕様書 11 感染症への対策

内容：嘔吐キット等を配置する旨の記載がありましたが、今年度はどのようなものを準備されたのかご教示ください。

回答

- ・使い捨て手袋、ガウン、マスク、シューズカバー
- ・ポリ袋
- ・ペーパータオル
- ・消毒
- ・バンドエイド 等

上記は今年度の設置例ですので、生徒の体調不良による、一時的対処が行うことができる内容の備品設置をお願いいたします。

質問項目 13

項目：仕様書 12 その他

内容：現在の学習・生活支援事業支援員が継続雇用を希望した場合、支援員の情報の引継ぎ方法をご教示ください。また継続希望者の雇用条件及び採用基準も引き継ぐ必要がありますか。

回答

- ・支援員の情報についての引継ぎは想定しておりません。
- ・令和7年度に支援員の募集の際、履歴書に令和6年度の学習支援に参加していた旨を記載させる等の方法により、継続雇用への配慮をお願いします。
- ・なお、継続希望者の雇用条件及び採用基準についての制限を設けるものではございません。

質問項目14

項目：仕様書12 その他

内容：原状回復費用発生に関して、費用が発生した事案があればご教示ください。

回答

- ・費用が発生した事案はございません。

質問項目15

項目：全般

内容：令和5年度事業と令和6年度事業について、受託事業者と委託金額をご教示ください。

回答

- ・令和5年度 委託金額：79,329,624円  
(受託事業者：株式会社トライグループ)
- ・令和6年度 委託金額：79,835,888円  
(受託事業者：株式会社エデュケーションアルネットワーク)

質問項目16

項目：全般

内容：令和5年度事業と令和6年度事業について、成果（達成事項など）やその他運営上の課題についてご教示下さい。

## 回答

- ・学習支援の出席率の目標値を85%以上としていますが、過去3年の実績をみると、出席率が70%台で推移しています。健康面や家庭事情等の課題を抱える場合もありますが、出席率の低い子どもに対して出席を促す支援が大切だと感じています。
- ・高等学校等進学率についての目標値を100%としていますが、過去3年の実績をみると、学習支援事業を利用している世帯の進学率の平均値が83.2%となっています。様々な課題を抱えていることから、進学に至っていない場合があると感じています。このことから、高校等進学支援のみならず、課題を抱える子どもへの支援も必要だと考えております。
- ・辞退率の目標値を10%以下としていますが、令和4年度及び令和5年度は10%で推移していました。令和6年度（令和7年1月末時点）では、6.6%となっており、目標値を達成することができています。
- ・令和5年度から、生活保護を受給する世帯に属する中学1年生の子ども及びその保護者を対象とした次年度以降の本事業への参加促進の取組みを開始しましたが、事業への関心が低い世帯に対してどのように事業周知及びアプローチを行っていくかが課題だと感じています。

## 質問項目17

項目：全般

内容：令和7年度以降の事業運営上の課題（未達成事項など）についてご教示ください。

## 回答

- ・生活保護受給世帯の申込率は20%台となっており、生活困窮世帯と比較すると、低い数字で推移していることから、課題であると認識しております。
- ・令和7年度より、生活保護世帯に対して進路選択支援を開始しますが、初年度にあたることから、周知方法及び支援方法を模索していく必要があります。

## 質問項目18

項目：その他

内容：千葉市では生徒一人一人に学習用端末（ギガタブ）が配布されていると思いますが、学習支援内でその端末を使った学習を実施しているかご教示ください。

## 回答

- ・学校ごとにギガタブの利用規則及び持ち帰り状況が異なることから、ギガタブを利用した学習は実施しておりません。

質問項目 19

項目：その他

内容：令和6年度の支援員の延べ配置数、実施回数を会場ごとにお示しください。

回答

・令和6年度の支援員の延べ配置数、実施回数は以下のとおりです。

コース	会場	実施回数	支援員数(延べ)
平日	中央保健福祉センター	57	649
	蘇我コミュニティセンター	57	611
	花見川保健福祉センター	56	609
	花島コミュニティセンター	57	597
	稲毛保健福祉センター	56	686
	若葉保健福祉センター	56	830
	都賀コミュニティセンター	58	517
	千城台コミュニティセンター	56	831
	緑保健福祉センター	57	505
	鎌取コミュニティセンター	57	462
	土気あすみが丘プラザ	57	382
	美浜保健福祉センター	57	736
土曜日	蘇我コミュニティセンター	29	177
	稲毛保健福祉センター	29	160
合計		739	7752